

不適合情報

2023年10月30日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	1号機	中央制御室において、B系非常用換気空調系制御盤異常および中央制御室冷凍機故障の警報が発生し、中央制御室冷凍機(B)が自動停止していることを確認した。調査の結果、冷凍機・油ポンプまたは当該機器の計器の不具合と推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、A系に異常はなく、換気空調機能に影響なし。	2023/10/22	G II

3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	サービス建屋換気空調系冷凍機(B)が、起動/停止を繰り返していることを確認した。調査の結果、凝縮圧力変換器の不具合による調整弁の動作不良と推定。当該変換器を点検・修理。なお、冷凍機(A)に異常はなく、機能に影響なし。	2023/10/14	
2	3号機	6号機非常用ディーゼル発電機で発生したOリング破断の水平展開として、高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機の軸封部を点検したところ、Oリングが破断していることを確認した。当初計画どおりVリングへ交換するとともに原因を調査。なお、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機状態にあるため、保安規定にもとづく機能要求に問題なし。	2023/10/25	